

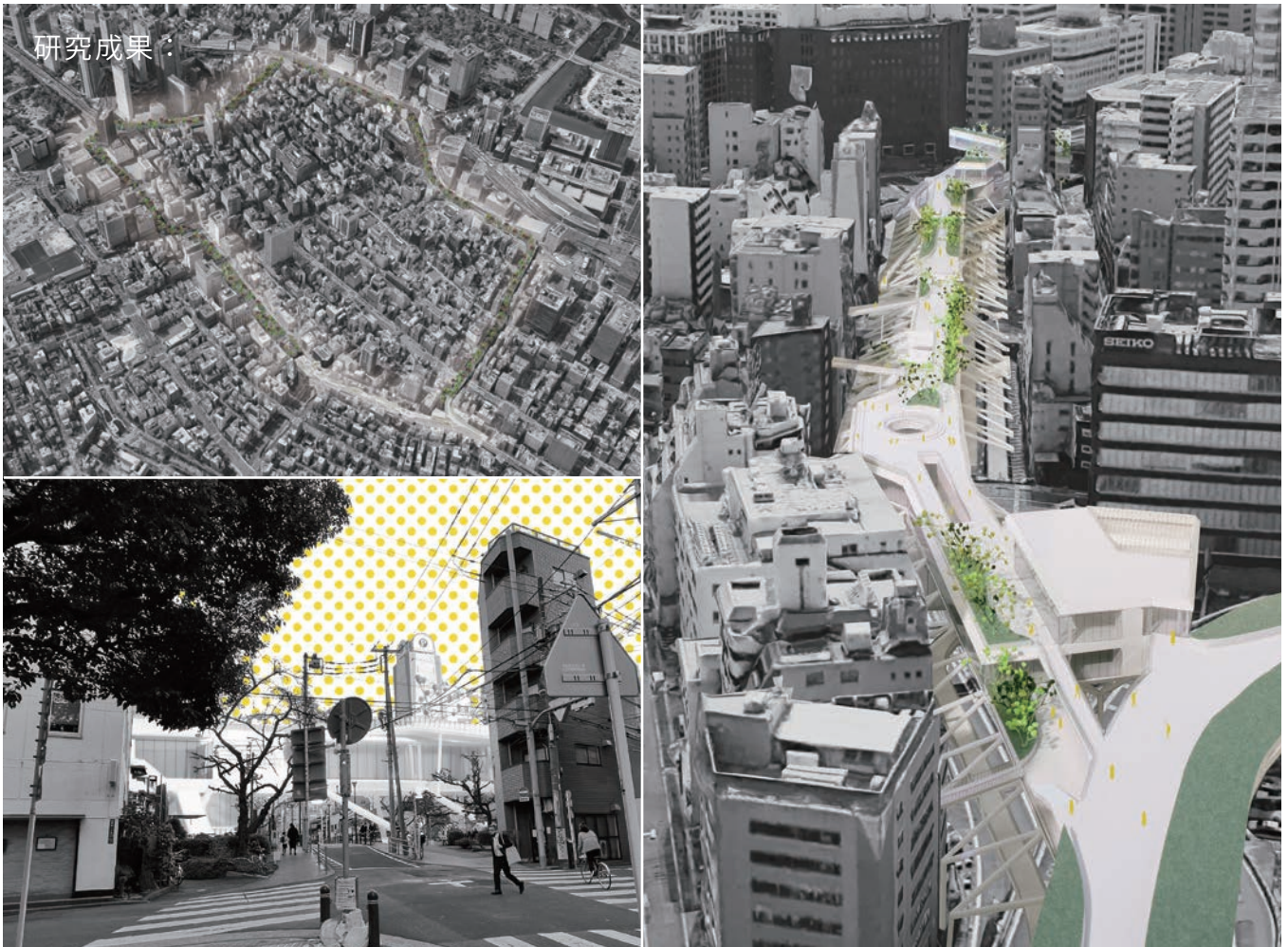
都市が醸し出す愉しさ -批判的地域主義の考えを軸に庁舎を中心とした公共空間の価値の再定義-

曾我部研究室 亀岡 貴彦

研究概要：都市の地域性や空間性を丁寧に調査分析し、その結果を建築のデザインに組み込むことによって、新しいタイプの建築空間を創出し、新しくも既存の街や地域住民の生活に調和するような建築を目指した。

研究目的：庁舎建築に求められる姿を再検討し、新たなプログラムを組み込むことによって、地域住民の集う場所や生活の支えになり、また庁舎利用者の活動の幅を広げ、地域へ開かれた場所を目指した。

研究成果：



苦労した点や感想など：

首都高速道路上部という特殊な敷地に対して、既存建築、周辺建物との関係性を考慮し、どのように建築を配置すれば良いかという点で苦労しました。
学生最後に都市規模の建築を計画することは、今後の自分の建築に対する構想力へと繋がり良い経験が出来たと思います。